

年 組 名前:

セーラー服のみの公立高ゼロに



都留高ブレザー導入へ

都留高は来年度から、男女ともにブレザーの制服を導入する。同校の制服は現在、男子が学ラン、女子がセーラー服だが、生徒間でジェンダーレスなど制服の在り方を考える取り組みが始まったことを受け、形状で男女差がないブレザーを採用した。女子向けの制服では巨摩高がセーラー服を採用していたが、昨年度からブレザーも選択できるようになっていて、県内公立校でセーラー服のみ的高校はなくなる。

〈武田寛明〉

来年度から導入されるブレザーの制服（右）とセーラー服姿の生徒ら

都留高によると、学ランとセーラー服の制服は1953年に制定し、70年以上同じデザインだった。新たな制服は男女ともに灰色のブレザーで、ストラックスやスカート、ネクタイ、リボンに紺や青色を基調にした柄になっている。女子の制服はスカートのみだったがストラックスも選択できる。

来年度の新生から着用を始める。在校生から新しい制服を着用したいと希望があった場合や、男子生徒がスカート着用を希望した際の対応は、今後検討していくという。

同校では2023年、生徒のグループが制服の在り方をテーマに調べ学習を実施。教員らに提案する形で私服での登校日を設定するなど、制服の在り方を見直す動きが起きていた。教員側は昨年4月、制服検討委員会を設けて議論。ブレザー導入を前提に四つのデザイン案をまとめ、全校生徒の投票で決定した。

(2025年9月4日付 山梨日日新聞 15面)

問1 都留高は来年度から、男女ともブレザーの制服を導入します。その特徴を教えてください。

.....

問2 都留高が、今後検討する課題を2つ教えてください。

.....
.....

問3 あなたは、中学校や高校の制服について、なにか思うことがありますか。自由に教えてください。

.....
.....